

作成日 2024 年 1 月 16 日

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：心房細動アブレーション後の心房石灰化の頻度と予後調査、および、その予防法についての検討

1. 研究の対象

2009 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日まで当院で心房細動のカテーテルアブレーションを受けられた患者さん

2. 研究期間

研究実施許可日～2025 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 4 月 1 日～

4. 研究目的

心房細動は最も頻度の高い不整脈で、その治療としてカテーテルアブレーションの有用性が確立されています。従来から行われている高周波によるアブレーション治療は、心房細動治療に非常に有効ですが、心筋を焼灼するという手技の性質上、少ない頻度で心房機能へ悪影響を及ぼすことがあると報告されています。心房細動アブレーション後に約 1 割の患者さんで心房に石灰化が生じ、その予後が悪いという事が近年報告されました。しかし、予防法については不明点が多く、解決策を明らかにすることが本研究の目的です。

5. 研究方法

当院で診療している心房細動アブレーション後の患者さんが対象です。カルテの記録から、病歴、心電図、心エコー、血液検査、アブレーション手技内容、胸部 CT 検査などの検査所見を調べ、アブレーション後に心房石灰化が見つかった患者さんとそうでない患者さんと比較します。心房石灰化の有無で、術後の予後がどうなったかを比較検討し、心房石灰化の予防法につながる項目を明らかにします。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

過去の診療記録から下記の項目を調査します。

個人情報適切に取り扱わせて頂きます。

・基本項目：性別、年齢、手術日、合併症の有無など。

・検査・治療所見：血液検査所見、心電図所見、心エコー検査所見、胸部 CT、カテーテルアブレーションのデータなど

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

1 0. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

筑波大学附属病院 循環器内科

住所；〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 五十嵐 都

電話・FAX：029-853-3143（循環器内科医局，平日 9 時～17 時にご連絡ください）